令和3年度 事務事業評価シート(1)

「令和2年度事務事業]

	_		- 1 1 12-2 5 50-2 5 7.17]	_			
一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業	€	
事務事業名	公共交通利用促進事業				事業番号	017-014	
担当部署名	建築都市	局	交通	部	交通政策担当		課

		•					•					
	I. 基本情報											
事	業の位置	付け										
		施策	有·無	戦略	5.強くしなやかな都市基盤 ~Resilient~ 施策 (2) 都市インフラヤ公共施設の最適化・老朽化対策と交通							
	堺市基本 計画 2025	関連 有 取組(取組の方向性								
		寄与する	有·無	指標名								
1	2023	9つ KPI	無	現状値	_		<mark> 目標値</mark>					
1	.m.t	施策との	有·無	ゴール	ゴール(11)住み続けられるまちづくり)を	ターゲット	11.3				
	堺市SDGs 未来都市	関連	有	取組	地域化	主民のつな	がり強化、個	住民自治の推進				
	計画	寄与する	有·無	指標名			_					
		KPI	無	現状値	_		目標値	_				
2	関連計画											
3	事業開始	年度			平成 26 年度	,	点検年度	令和 7 年度				
4	実施根拠 (根拠法令、条例等) 堺市おでかけ応援利用者証条例											
事	業の概要											
5	事業の実施主体 堺市 (実施主体となる団体等) ポープ・フェー・フェー・フェー・フェー・フェー・フェー・フェー・フェー・フェー・フェー											
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数) 65歳以上の市民。234,698人(令和2年度末現在)											
7	7 事業の目的 (事業実施によりめざす状態) ・全国的に公共交通利用者数が減少する中、公共交通の利用促進及び維持・活性化する。また、高齢者の社会を の促進を図ることを目的とする。 ・ I Cカードにより利用資格及び利用状況の適正管理を図ることで制度を維持することを目的とする。											
事業内容 (目的を達成するための手段) ・「おでかけ応援カード」(ICカード)を使うことにより阪堺電車を1乗車100円で利用できるようにする・申請書兼納付書を対象者に送付し、納付者に対してカードを作成し送付する。・毎日の住民基本台帳との照合により、利用資格の適正管理を行う。・カード発行事務に係る窓口業務及び電話対応を行う。・カード発行事務に係る窓口業務及び電話対応を行う。・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・												
	※国・府の施した内容			ž								
9	主な支出先	(委託·補助	か金・負担金	_{等)} 阪堺電	電気軌道株式会社・カード発行業者							
10	公民連	携•協	働事業									

Ⅱ.事業目的の達成状況

事	業の成果や活動実績の測定							
	成果指標(目的の達成状況を測定)			実	績	目標	目標 点検年度	
				令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和7年度	
	おでかけ応援カードの保有率(ICカー		目標値	67	69	70	71	
		%	実績値	68	70			
11	ド移行後)		達成率	101%	101%			
	当該指標を選定した理由	制度目	目的(公共交)	通の利用促進及び維持・活性化、高齢者の社会参加の促進)の実現につながるため				
	目標値の設定根拠・算出方法	(前年度3月末時点のおでかけ応援カードの保有者数) ÷ (前年度3月末時点の65歳以上の人口)						
	活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実	績	目標		
				令和元年度	令和2年度	令和3年度		
		件	目標値	10,392	9,837	9,521		
	新規対象者に対する周知件数		実績値	10,515	9,965			
12			達成率	101%	101%			
	当該指標を選定した理由	制度の目的及びカード発行方法を周知し、広く制度を活用いただくことで、事業目的の実現につ						
	目標値の設定根拠・算出方法	新規対	才象者に対して	周知を行った件数(新	f規65歳 + 65歳以上	の転入者推計値)		

事務事業名 公共交通利用促進事業 事業番号 017-014

Ⅲ. 投入量

事業コスト (単位:千円) 平成30年度 令和元年度 令和2年度 令和3年度 項 目 予算 決算 決算 決算 予算 事業費 (a) 11,479 23,349 64,689 79,102 93,550 国支出金 15,683 13 財 府支出金 源市債 内 その他 (訳 受益者負担金(使用料、手数料等) 11,449 11,413 12,600 8,874 12,600 一般財源 30 52,089 80,950 11,936 54,545 14 人件費 (b) 10,210 12,340 12,340 13,560 10,100 15 年間経費(c)=(a)+(b) 21,689 33,449 77,029 91,442 107,110

事業費の内訳 ____ (単位:千円)

		項目	年	度	事業費	うち 一般財源	項目	年	度	事業費	うち 一般財源
		阪堺電車おでかけ応援事業等負	R2	決算	44,282	44,282	おでかけ応援ICカード管理システム	R2	決算	990	990
		担金	R3	予算	71,000	71,000	運用保守等委託料(IT経費)	R3	予算	990	990
	事業	おでかけ応援事業負担金【コロナ	R2	決算	14,742	0	堺市公共交通応援事業補助金	R2	決算	941	0
16	業	対応】	R3	予算	0	0	【コロナ対応】	R3	予算	0	0
	貝内	おでかけ応援ICカード発行等委 託料	R2	決算	11,784	5,644	印刷製本費(枠)	R2	決算	629	629
	訳		R3	予算	13,242	4,520		R3	予算	627	627
		通信運搬費(枠)	R2	決算	4,331	1,597	その他使用料及び賃借料(IT経	R2	決算	0	0
		世语连拟真(什)	R3	予算	5,891	2,013	費)(枠)	R3	予算	50	50
		おでかけ応援ICカード申請書印	R2	決算	1,263	1,263	廃棄物処理•運搬等委託料	R2	決算	140	140
		刷発送準備等委託料	R3	予算	1,750	1,750	光朱彻处注:连顺寺安武科	R3	予算	0	0

IV. 事業の効率性

単位当たり経費

		区分	単位	令和元年度	令和2年度
	1	おでかけ応援カード保有者数	人	161,010	163,956
17	2	上記①にかかる年間経費	千円	33,449	33,639
	3	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	208	205
	備考	(算出についての説明等)			

V. 評価

費用対効果に係る所見

- ・おでかけIC化により適正な事務事業継続が可能となっており、カード管理システムにより事務コスト低減化を図っている。
- ・カードを交通事業者間で共通化することにより、事務管理が必要最小限に抑えられるなど、効率的な事業運営を行っている。
- ・カード発行管理システムの改良等による事務の効率化を進めつつ、社会情勢、他の自治体における同種のサービスの動向、本市の財政状況を考慮 しながら運用する。

KPI等への寄与(基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか)

・昨年度は新型コロナウイルス流行の影響でおでかけ応援制度の年間合計利用回数(阪堺電車)が減少したものの、車両内の感染防止策を実施 し、令和2年10月~12月についてはおでかけ応援利用促進事業(運賃無償化)を実施したことにより前年比約22%増の利用があり、利用回数の 減少に一定の歯止めをかけた。

19 ・新たな制度対象者(65歳になる堺市民、転入者)全員に制度案内を継続的に送付し、制度の認知度の向上に努め、カード保有率を増加させ

・上記2項目より、事業目的となっている公共交通の利用促進及び維持・活性化と高齢者の社会参加の促進に寄与したと考えている。